







JLC 第 55 回ジョーク・コンテスト




2021 年 7 月 17 日 (土) 16 : 00-17 : 00

オンライン会議方式 MC:大野和子



	出題品と語数	出題者と得点
1	 <p>If a barber makes a mistake, it's a New Style. If an engineer makes a mistake, it's a New Venture. If parents makes a mistake, it's a New Generation.</p> <p>(29 words)</p>	<p>相原 悦夫</p> <p>3+5=8</p>
2	<p># analbumcover</p> <p>If you read this hash tag the same way I did, then the internet has ruined you too.</p> <p>(19 words)</p> 	<p>土屋 政雄</p> <p>3+3=6</p>
3	 <p>Teacher: "Don't you know, Yuriko, that punctuation means that you must pause?" Yuriko: "Course, I do. A car driver punctured his tire over there yesterday, and he paused for half an hour."</p> <p>(30 words)</p>	<p>坂井 孝彦</p> <p>3+0=3</p>
4	 <p>"Dad, I decided to get married with that girl." "Oh, that girl? Then you must prepare three kinds of rings." "H'm, engagement ring, wedding ring...What else?" "Suffering." (28 words)</p>	<p>岡本真弘人</p> <p>4+2=6</p>

5	<p>What did the police officer say to her belly button? You're under a vest! (14 words)</p> 	<p>岡田 茂富</p> <p>2+1=3</p>
6	 <p>Husband: Do you like Mt. Fuji? Wife: Absolutely yes. The view makes me quite speechless! Husband: Very good. Then we will stay here another two weeks. (26 words)</p>	<p>長谷川真弓</p> <p>7+5=12</p> <p>第三位</p>
7	 <p>A: Why do gorillas have big nostrils? B: Because they have big fingers. A: I see. Your fingers are small, but your nostrils look big. Why? B: Sniff-Sniff...Because I'm a competent newsperson. (29words)</p>	<p>大野 和子</p> <p>0+0=0</p>
8	<p>A recent finding by statisticians shows the average human has one breast and one testicle. (15 words)</p> 	<p>小澤 正樹</p> <p>1+1=2</p>
9	 <p>To a woman the first kiss is just the end of the beginning; to a man it is the beginning of the end. (21 words)</p>	<p>佐川 光徳</p> <p>2+1=3</p>
10	<p>“I feel like I’m going to die.” “If you passed away, I would go crazy.” “Yes, go crazy—you’d get married again.” “I wouldn’t go that crazy.” (27words)</p> 	<p>豊田 一男</p> <p>4+6=10</p>
11	 <p>“safety distance”? or “no sense of unity”? (7 words)</p>	<p>今井真由美</p> <p>2+3=5</p>

12	<p>A woman intruded into the zoo monkey enclosure to feed the monkeys with bananas. The zoo director condemned this behavior, saying “No monkeying around”. (24 words)</p>		<p>安藤 雅彦 1+1=2</p>
13	<p>Jack: Do you know why bald men are much happier than bushy guys? Tom: No. Why? Jack: Because they don't have to worry about dying or parting. (27 words)</p>		<p>服部 陽一 7+9=16 第一位</p>
14		<p>Q: What is the future of "he drinks"? A: He is drunk. (12 words)</p>	<p>中嶋 秀隆 5+8=13 第二位 大波賞</p>

MCの記 大野和子

コロナ禍の長いステイホーム…ため息ですよね。嘆いていても始まらないと、私はささやかなことを、オーバーに喜ぶようにしています。図書館で本の宝探しをしたり、早朝ウォーキングで動植物へ話しかけたり、実験料理にチャレンジしたり。

そんなノー天気志向の私に、MCのお話をいただきました。果たして務まりますか不安でしたが、なんとか乗り切ることができました。画面操作をしてくださった佐川さん、本当にありがとうございました。初めての経験にドキドキしたのは久しぶりで、新鮮でした。皆様に温かく見守っていただきましたおかげです。ありがとうございました。

今回は、「一見常識的なように見えて、意外に深読みを誘うものが、多かったと思います」と、佐川さんからの返メールでした。私も同じように感じました。討論の場での深読みや発見こそが、ジョークの楽しさなのです！

入会から2年経ちましたが、私のジョークは未熟のままです。それでも、毎回楽しみながら参加できたらと願っております。

互選結果をご報告します。今回は1回目の互選3位までが、2回目との合算でも、1-3位となりました。

1位：13番 服部さん

We, Jokers No.84, August 10, 2021

Jack: Do you know why bald men are
much happier than bushy guys?

Tom: No. Why?

Jack: Because they don't have to worry
about dying or parting.

dying が、「髪を染める」と「(妻と) 死別する」、parting が、「髪を分ける」と「(妻と)別れる」と、ダブルミーニングの深読みで、いいのでしょうか？

そうすると、「若い禿げてる男性は結婚が難しく、独身を通す。だから妻と離婚したり、死別するといった苦しみを味わわなくて済むから、より幸せだ」という内容になりそうです。「果たしてこの前提でいいのでしょうか」という、ご指摘をいただきました。確かに疑問が残ります。ご本人欠席のため、確認できませんでしたのが残念です。

2位 : 14番 中嶋さん

Q: What is the future of “he drinks”?

A: He is drunk.

簡潔でありながら、後から、じわじわとうまいなあと思わせる作品ですね！ イラストが秀逸！ 写真の男性の寝そべる姿が、おかしさと同時に人生の悲哀を感じさせます。こんなジョークを作れるようになりたいと、思わずため息が出ました。

3位 : 6番 長谷川さん

Husband: Do you like Mt. Fuji?

Wife: Absolutely yes. The view makes me quite speechless!

Husband: Very good. Then we will stay here another two weeks.

どこの夫婦も同じなのですね！妻はたいていおしゃべりで、感じたこと考えたことを口に出さずにはられません。夫の方は、もううんざり。この夫はどうにあきらめているようです。でも、富士山をうっとり眺めている妻の顔を、夫は優しく見つめているように思えます。共白髪に向かっている愛しきこの夫婦に、乾杯！

他の作品も、討論の内容と、私の勝手な感想を述べさせていただきます。

1番

If a barber makes a mistake, it's a New Style. If an engineer makes a mistake, it's a New Venture. If parents make a mistake, it's a New Generation.

最後の、「親がする間違いとは何でしょうか？」というご質問がありました。「不本意な妊娠、出産を指しているのではないのでしょうか」と、お答えがありました。私は、子育ての失敗を言っているように思いました。

いずれにしても、「人間はあくせく生きていくが、その実、曖昧にごまかしたり、自己肯定しながら生き延びている」と、言っているようです。そこに、人間に対する優しい眼差しも感じました。

2番

analbumcover If you read this hash tag the same way I did, then the internet has ruined you too.

An album cover が、読み方によっては、変わった性行為を指す言葉になってしまうのですね。「もし誤読すると、僕みたいにネット

で炎上されてしまうよ」と、自分の体験として語っています。それが、本当にありそうな事のように思わせて、うまいなあと感じました。

3番

Teacher: Don't you know, Yuriko, that punctuation means that you must pause?

Yuriko: Course, I do. A car driver い punctured his tire over there yesterday, and he paused for half an hour.”

授業中、テキストを読まされている百合子に、教師が[句読点では切るように]と注意します。百合子は、「あそこで車がパンクして、長く止まっていた」と、無関係なことを、言葉もじりでしゃあしゃあと返します。

百合子の名前が、弁のたつ都知事を連想させて、おもしろいとの感想がありました。なるほどと思いました。

4番

“Dad, I decided to get married with that girl.”

“Oh, that girl? Then you must prepare three kinds of rings.”

“H'm, engagement ring, wedding... What else?”

“Suffering.”

この父親は、かなりのおとぼけ上手とお見受けしました。

父親は、結婚する息子に向かって、3つの-ingを準備するようと言っています。思い出せないふりをして、実は最後の sufferingこそ、息

子に伝えたかったのでしょうか。結婚を楽しみにしている息子は、どう感じたのでしょうか？ でも大丈夫。両親のやりとりをずっと見てきた息子は、父親と同じおとぼけの技で、結婚生活の荒波を乗り切っていくに違いありません。

5番

What did the police officer say to her belly button?

You're under a vest!

婦人警官に向かって男性警官が、「きみのお臍は防弾チョッキの下だ。逮捕しちゃうぞ」と、言葉遊びで言っています。婦人警官の方は、毎度の聞きなれた冗談でも、笑っているのではないのでしょうか。

多くの国が人種差別の嵐に、揺さぶられています。が、せめて働く仲間の間では、ジョークの飛び交う和やかな雰囲気であってほしいものです。

7番

A: Why do gorillas have big nostrils?

B: Because they have big fingers.

A: I see. Your fingers are small, but your nostrils look big. Why?

B: Sniff-Sniff...Because I'm a competent newsperson.

今回も私のジョークは不出来でした。「ゴリラは太い指で鼻をほじくるから、鼻孔が大きくなった。でも僕は、事件を嗅ぎだそうとしている有能な記者だから、鼻孔が大きいんだよ」と、そんなところですよ。言い過ぎですよ。まだまだです。

8番

A recent finding by statisticians shows the

average human has one breast and one testicle.

将来、過酷な地球環境に適応するために、人間も両性有具の生物へと進化するのかもしれないね。このジョークを読み。そう感じました。写真のイラストの男女が明るく楽しげで、未来に対する不安が和らぎます。

9番

To a woman the first kiss is just the end of the beginning; to a man it is the beginning of the end.

女性にとっては恋の始まりが一番甘く、毎日は夢心地。恋が進むにつれて、夢心地は徐々に薄れていきます。first kiss から結婚へ進むと、家事と育児という現実が押し寄せます。

男性については…やはりわかりません。想像ですが、first kiss、それに続く結婚で、急にたくましくなった女性に驚き、圧迫感を覚えるのでしょうか。

10番

“I feel like I’m going to die.”

“If you passed away, I would go crazy.” “Yes, go crazy—you’d get married again.”

“I wouldn’t go that crazy.”

go crazy には、「はしゃぎ回る」の意味もありました。妻は危篤の夫にたいして、「あなたが亡くなったら、はしゃぎまわっちゃうわ」という本音を、カモフラージュして言っているのでしょうか？

妻が嘆いていると受け取った夫の方は「僕が死んだら、君は気が狂ってしまうのだろうね。再婚してもいいんだよ」なのでしょうか？ だとしたら、夫がかわいそう過ぎる展開

です。妻の方は、「結婚なんて、そんなばかなことはごめんだわ」と、呆れるほどのたくましさです。

11番

“safety distance”? or “no sense of unity”?

このジョークには圧倒されました！ コロナウイルスの蔓延する中、オリンピック開催に対する意見の対立や、不安や、忸怩たる思いが、この7語の中にしっかり折り込まれていますね！ 万の言葉を語るより、このジョークとロゴのほうが深く、豊かに語りかけてくれます。

2つの疑問文の並列はひねりが効いていて、ほんとうに見事です。語り口も、冷静で余裕がある感じです。だからきっと、人類はコロナに打ち勝つだろうとも思いました。素晴らしいジョークで、大好きです。

他のご意見では、「ロゴ無しでも通用すると思います。コロナのジョークとなるのでは」とのことでした。なるほどと思いました。

12番

A woman intruded into the zoo monkey enclosure to feed the monkeys with bananas. The zoo director condemned this behavior, saying “No monkeying around”

動物園で一人の女性が、サルにバナナあげよと囲いの中へ。当然ながら、責任者に叱責されます。No monkeying around とは、「ふざけるな」という意味だと知りました。女性の大胆で、思いもかけない行動は、私たちの心の奥に潜む衝動を、象徴しているようにも思いました。

